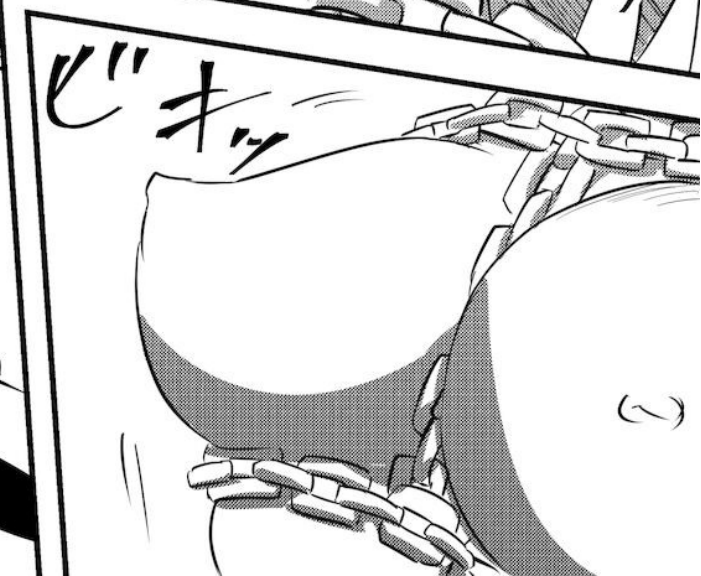
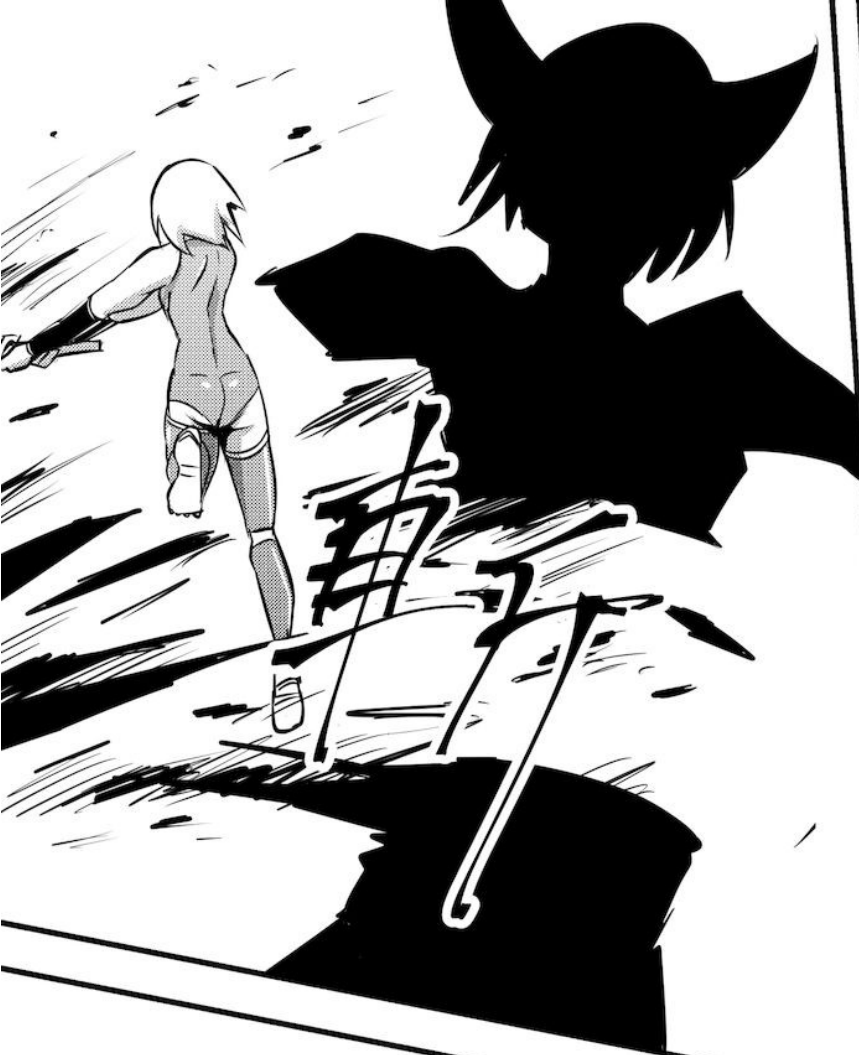
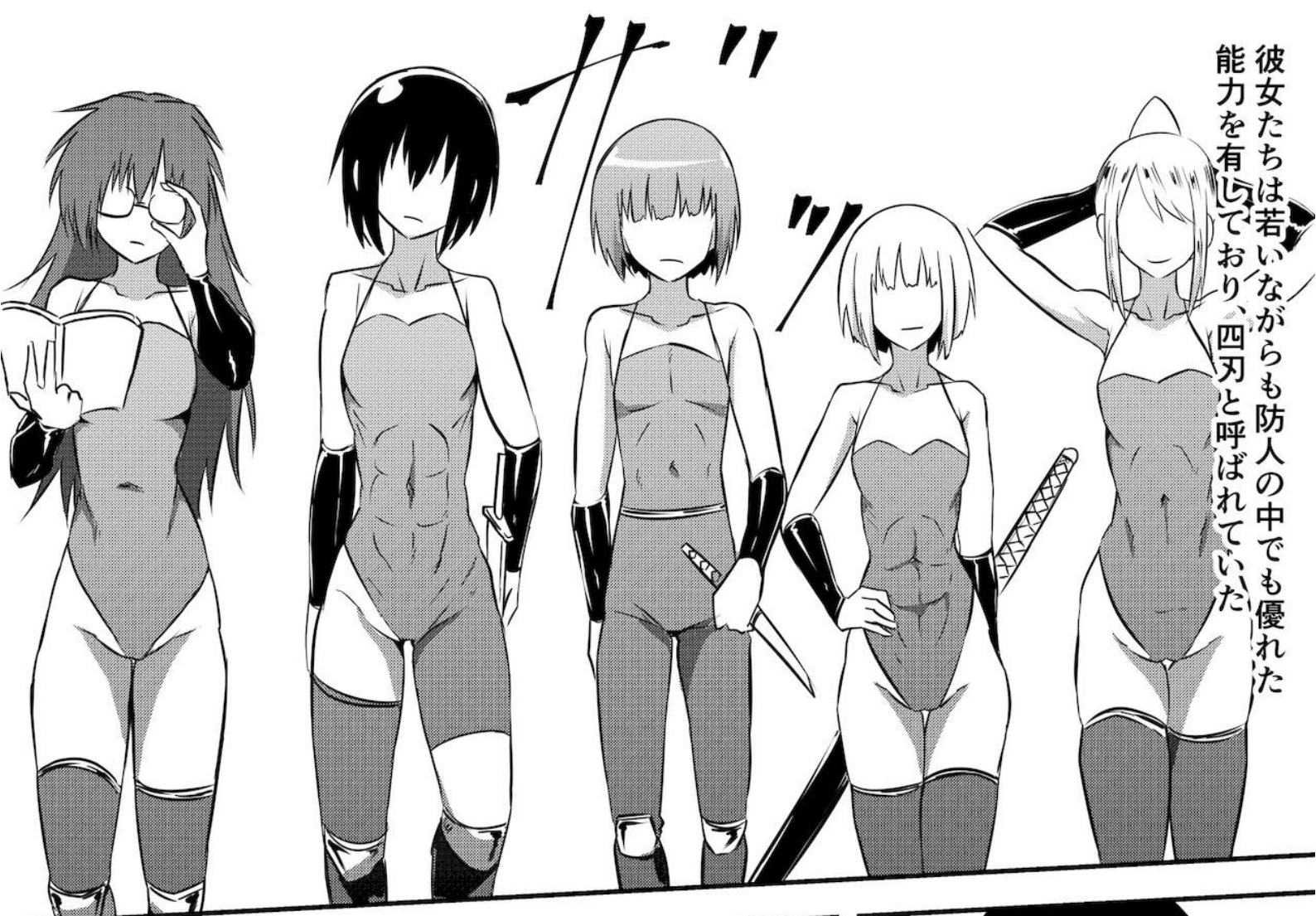






彼女たちは若いながらも防人の中でも優れた能力を有しており、四刃と呼ばれていた

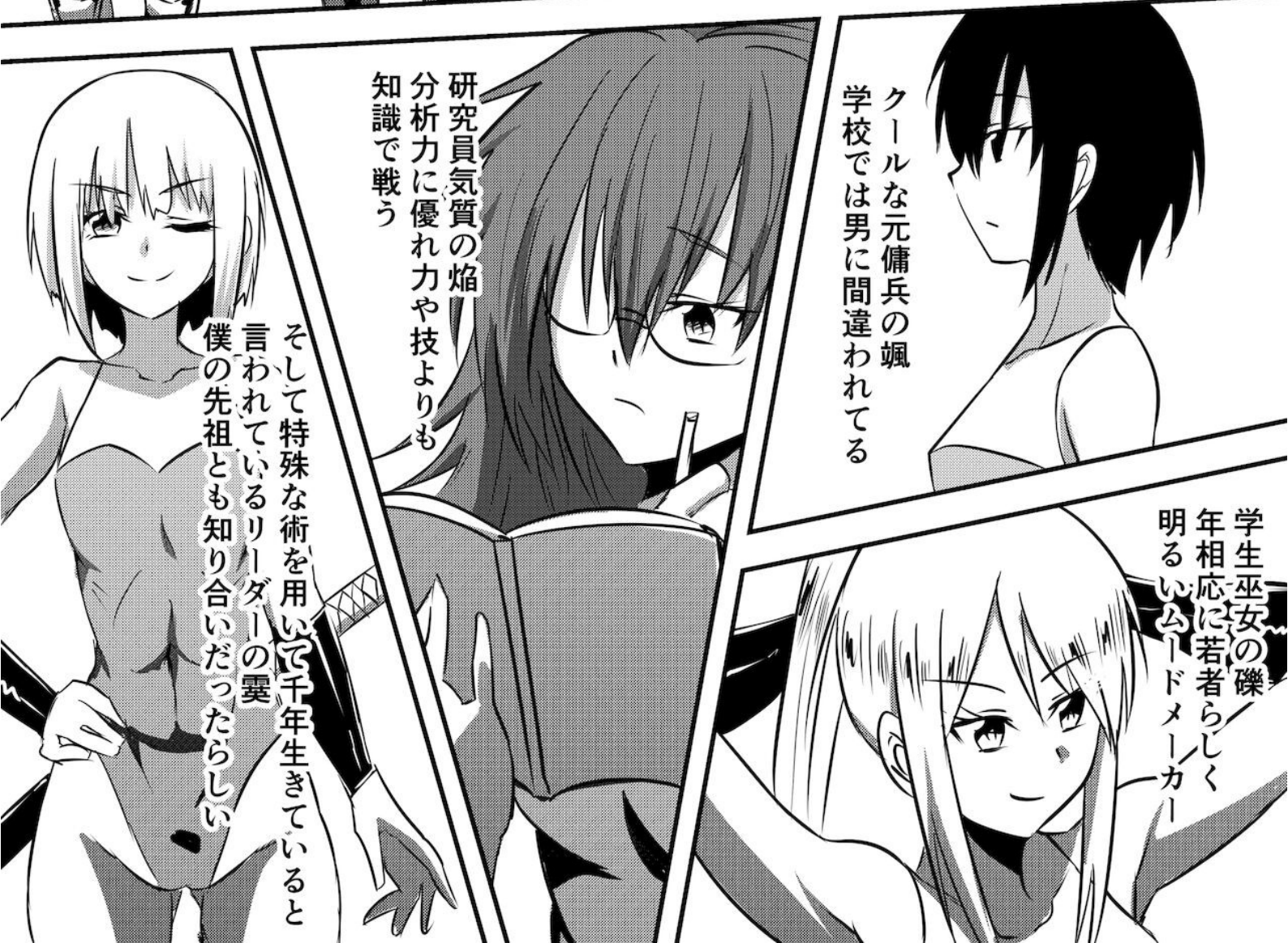


クールな元傭兵の颯
学校では男に間違われてる

研究員気質の焰
分析力に優れ力や技よりも
知識で戦う

そして特殊な術を用いて千年生きていると
言われているリーダーの雲
僕の先祖とも知り合いだったらしい

学生巫女の礫
年相応に若者らしく
明るいムードメーカー



僕も一応彼女たちの
グループの一員なんだけど

伝説の防人「アギト」の子孫というだけで
特に優れた能力もなく
引け目をかんじていた...

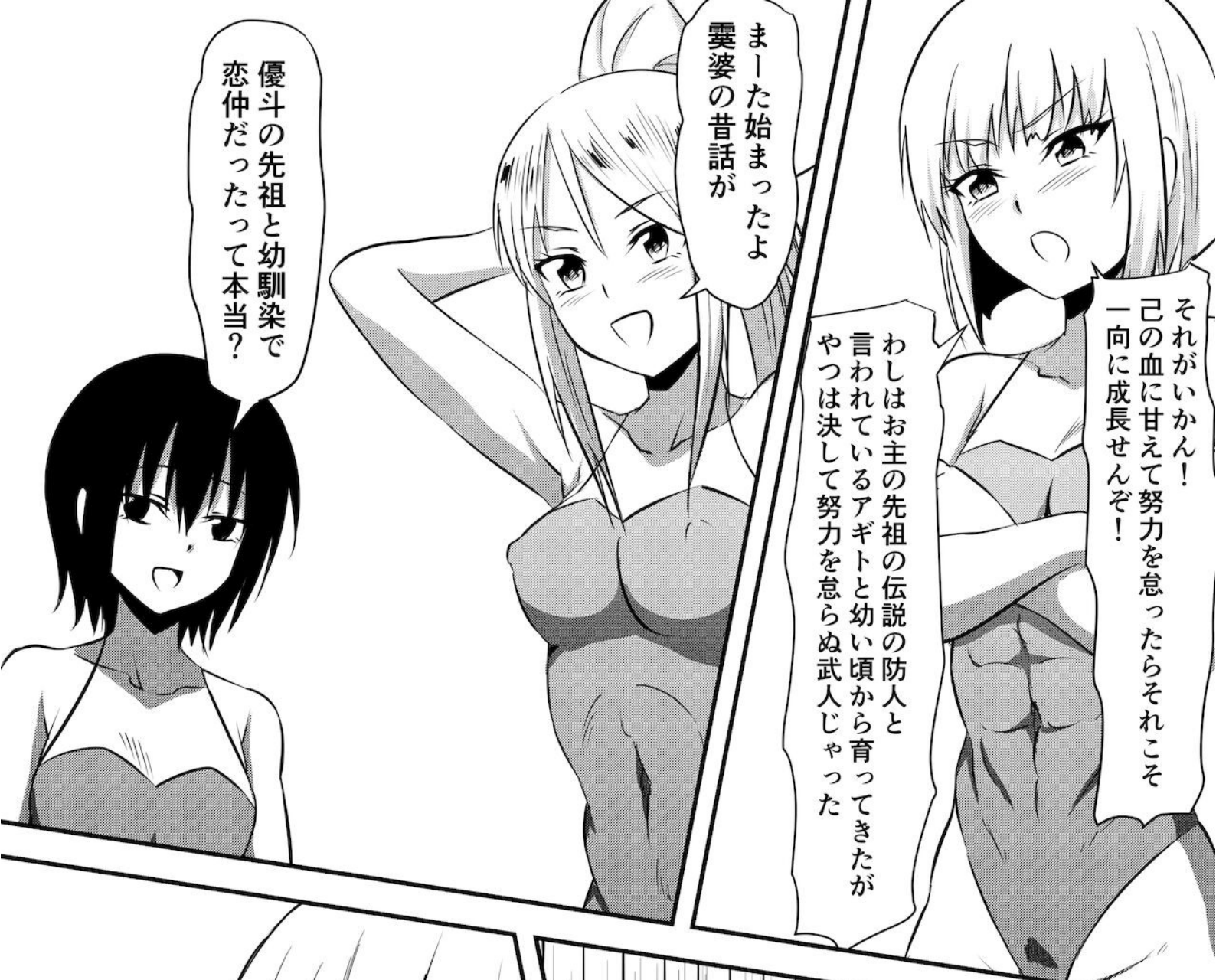
遅い！
この程度の攻撃も伏せげんで
どうする！

お主はまだ優しがあるのじゃ！

なにせ伝説の防人の
子孫なんだしね

まあまあ
優斗はまだ発展途上だよ

屋敷塚砥切

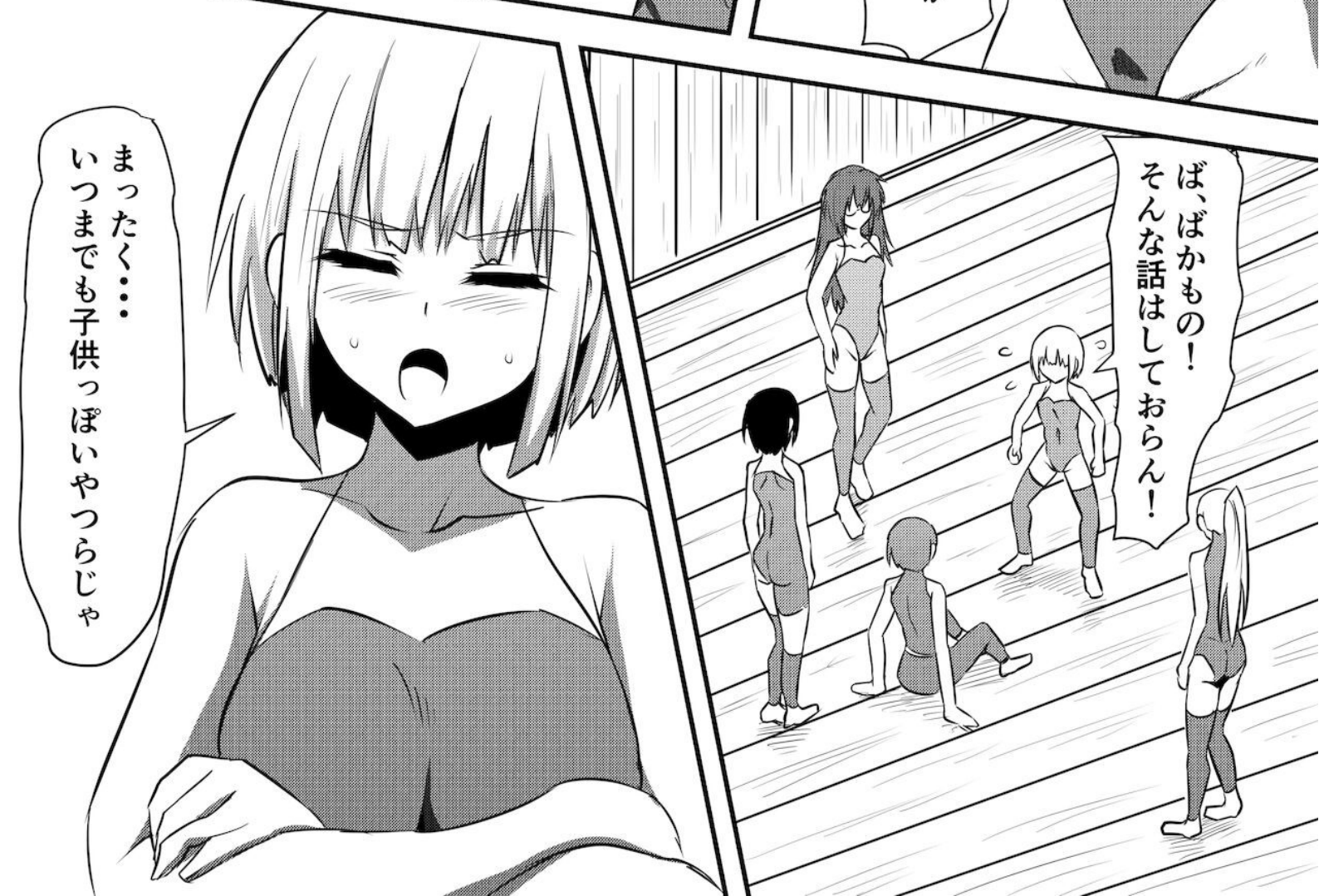


まーた始まったよ
雲婆の昔話が

優斗の先祖と幼馴染で
恋仲だったって本当？

それがいかん！
己の血に甘えて努力を怠ったらそれこそ
一向に成長せんぞ！

わしはお主の先祖の伝説の防人と
言われているアギトと幼い頃から育ってきたが
やつは決して努力を怠らぬ武人じゃった



ば、ばかもの！
そんな話はしておらん！

まったく…
いつまでも子供っぽいやつらじゃ

ホー

ホー

カッ

カッ

最近になって怪物は増加していた
強い防人達が次々に怪物に
改造されているという噂もある...



「僕ももっと
強くならなきゃ...

力が欲しいか...

!

だ、誰だ!



私はずっとお前を見て来た...
お前が成長するのを待っていた...

今こそ我らに伝わる秘術で
お前を最強の防人にしてやろう!

ズ
ズ
ズ

うおおおお



うん…
一昨日から学校にも来ないし
家にも帰ってないみたい



優斗が消えた？



いや、彼は伝説の防人の
血を引くもの…
それに目をつけられたということ
もありえる…



まさか例の噂！
怪物にされて…！！

まさかー
あの半人前の優斗だぜ

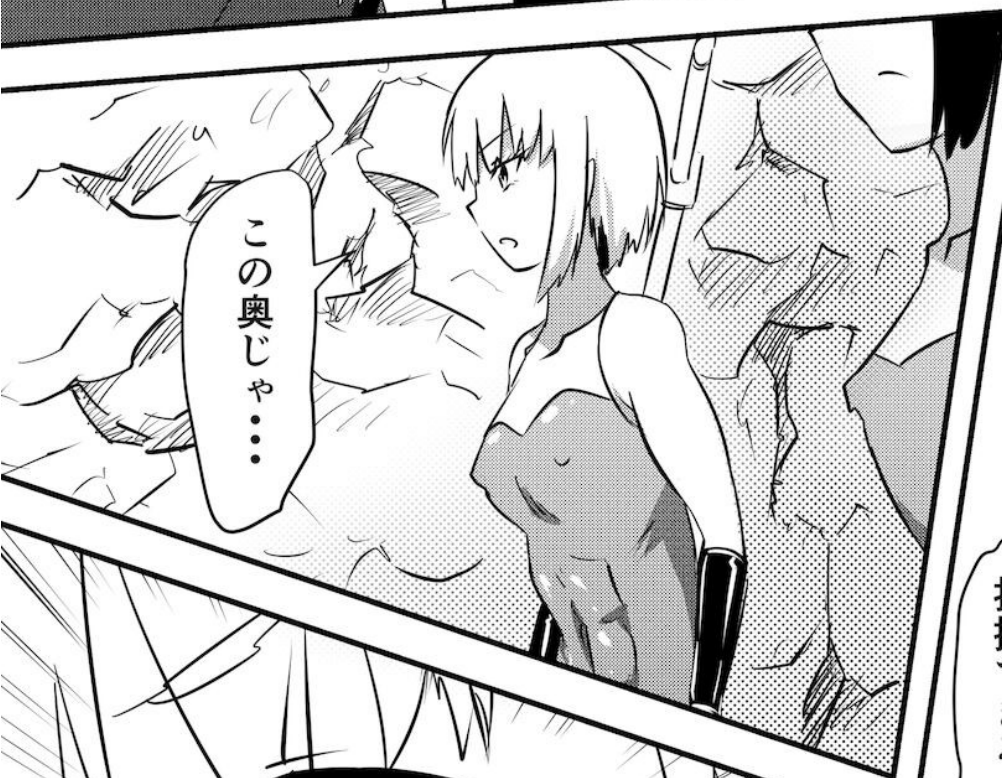


カチ

カチ

カチ

…調べましょう！





う、うそ！
何この怪物！

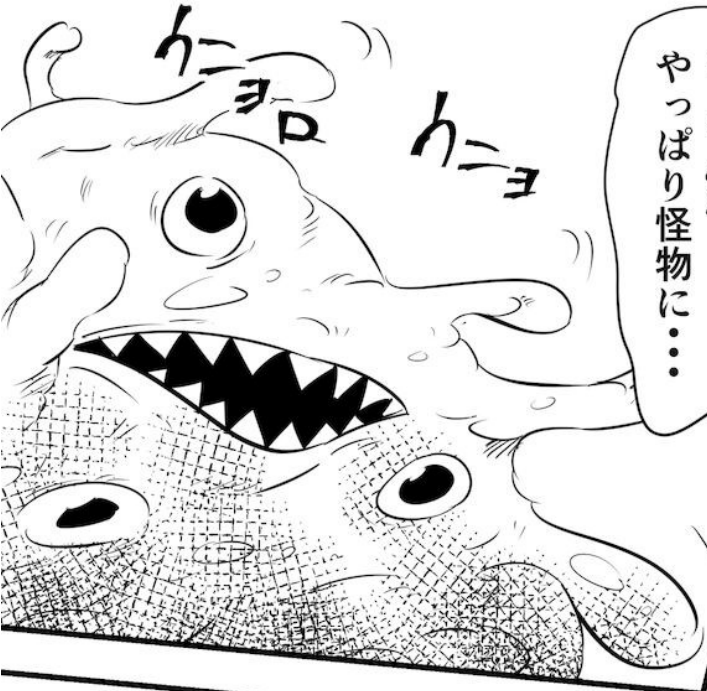


くっ！
始末する！

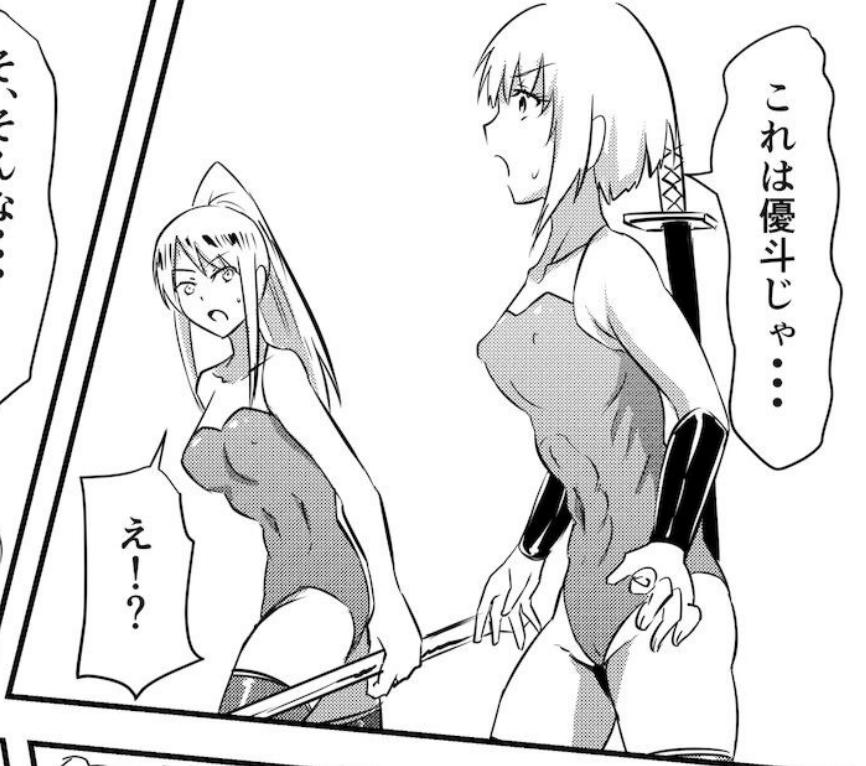
ま、待て！

わんわん

わんわん



そ、そんな...
やっぱり怪物に...

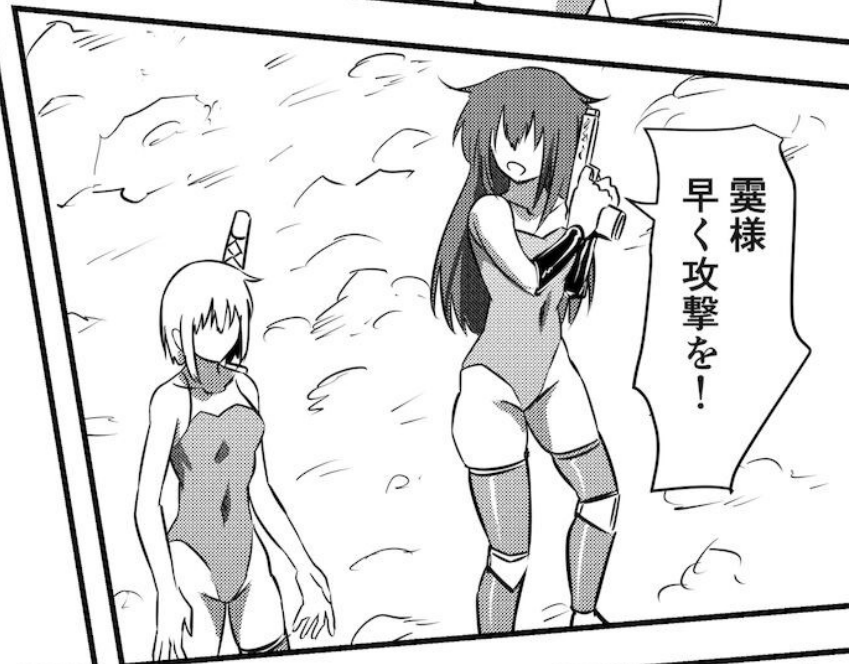


これは優斗じゃ...

え!?



ま、待て...!
救う方法が何か...!



翼様
早く攻撃を!



きゃあああ!

しまった!

くっ!



危ない!









あひい!
ひぎいいい!

入ってくるう!

いいやつ!
放してえ!

びりり

びりり

びりり

びりり

びりり

びりり

あひい





優斗……

お願い……

僕のせいで
みんなが苦しむ姿を
見たくないんだ……

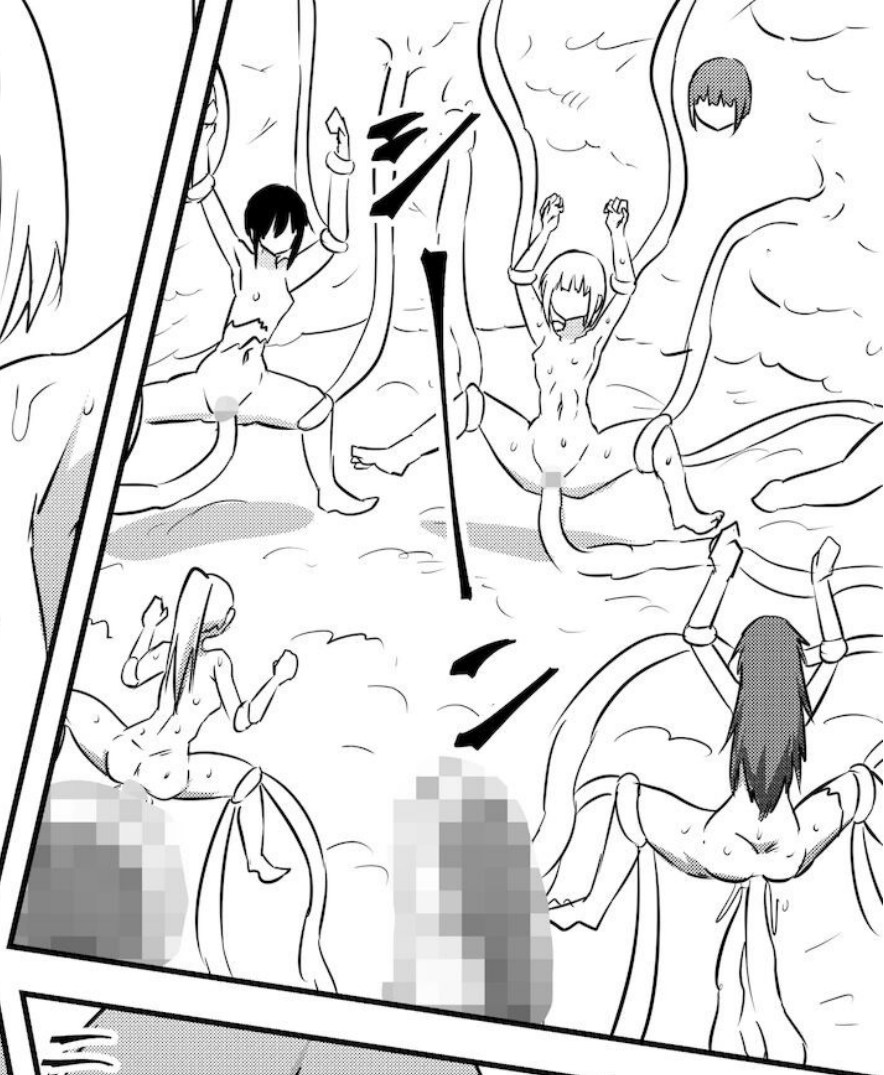


はあああああ！

キッ

よし！
やるぞ！

体内の気を増幅させろ
共鳴するんじや！



お前たちには
オレの養分になってもらう

既にその妖力は吸収させてもらった
よって術式は発動できなかったのだ

語るに及ばず！

何故じゃアギト！
お前がなぜこんなことを…！

お前も防人ならば
推して知るべし

ひああ！

や、やめ…！

相変わらず甘い女だ
外側から一気に破壊していれば
よかったものの

その情がいつか命取りになると
千年前から忠告していたはずだぞ

ガッ
ホ

シッ
ホ

ズ
ズ

ズ
ズ

ズッ
ッ

シッ
ッ

これはお前の甘さが
招いた敗北だ

ッ
ッ

ズッ
ッ

この触手たちは生命維持に必要な
栄養を流しつつ
快楽を数十倍に増加する

あーあ

ググ

ググ

俺はお前らの妖力を
吸収しながらより強大になる

所詮女など
脆き者

おーい

ググ

強者の餌に過ぎぬ

ぐわ

ググ

ググ

無限の快楽を
味わいながら
我が糧となるがいい

ふむふむ

ググ

おーい

ググ

ググ



今のままでは増え続ける
怪物たちにいずれ我らは押し負ける

起死回生のために
犠牲は必要なのだ

我らは正義の味方ではない
我らは防人
夷狄から人類を守る戦士だ

どのような手段でも
人類を守らねばならぬ

例えその力が
禁忌の力であろうとも

おっ♡

ほお♡

あ…
はあん…

おま♡

あはあ…

はあああん！

イクイクウ！

ほお♡



見るがいい優斗
戦士などと言っても
所詮奴らは女

ととと

俺はお前の秘めたる
欲望も知っているぞ

お前もこうなるのを見
たかったのだろう？

昔から悔しかったのだら
う？
女に負ける自分が

ん

見よ
今や
雌奴

見るがいい優斗
戦士などと言っても
所詮奴らは女

ととと

俺はお前の秘めたる
欲望も知っているぞ

お前もこうなるの
を見たかったのだろう？

昔から悔しかったの
だろう？
女に負ける自分が

ん

見よ
今や
雌奴

見るがいい優斗
戦士などと言っても
所詮奴らは女

ととと

俺はお前の秘めたる
欲望も知っているぞ

お前もこうなるの
を見たかったのだろう？

昔から悔しかったの
だろう？
女に負ける自分が

ん

見よ
今や
雌奴

見るがいい優斗
戦士などと言っても
所詮奴らは女

ととと

俺はお前の秘めたる
欲望も知っているぞ

お前もこうなるの
を見たかったのだろう？

昔から悔しかったの
だろう？
女に負ける自分が

ん

見よ
今や
雌奴

お前が憧れていた女も
今やお前の肉棒の虜

4270
ご主人さまあ
おちんぼくだしやあい...

おいひいのお...
おひんぽお...

蕩けきった顔よ
お前の性の猛りを感じるぞ

あはっ♡

なあん♡

おはっ♡

おっ♡

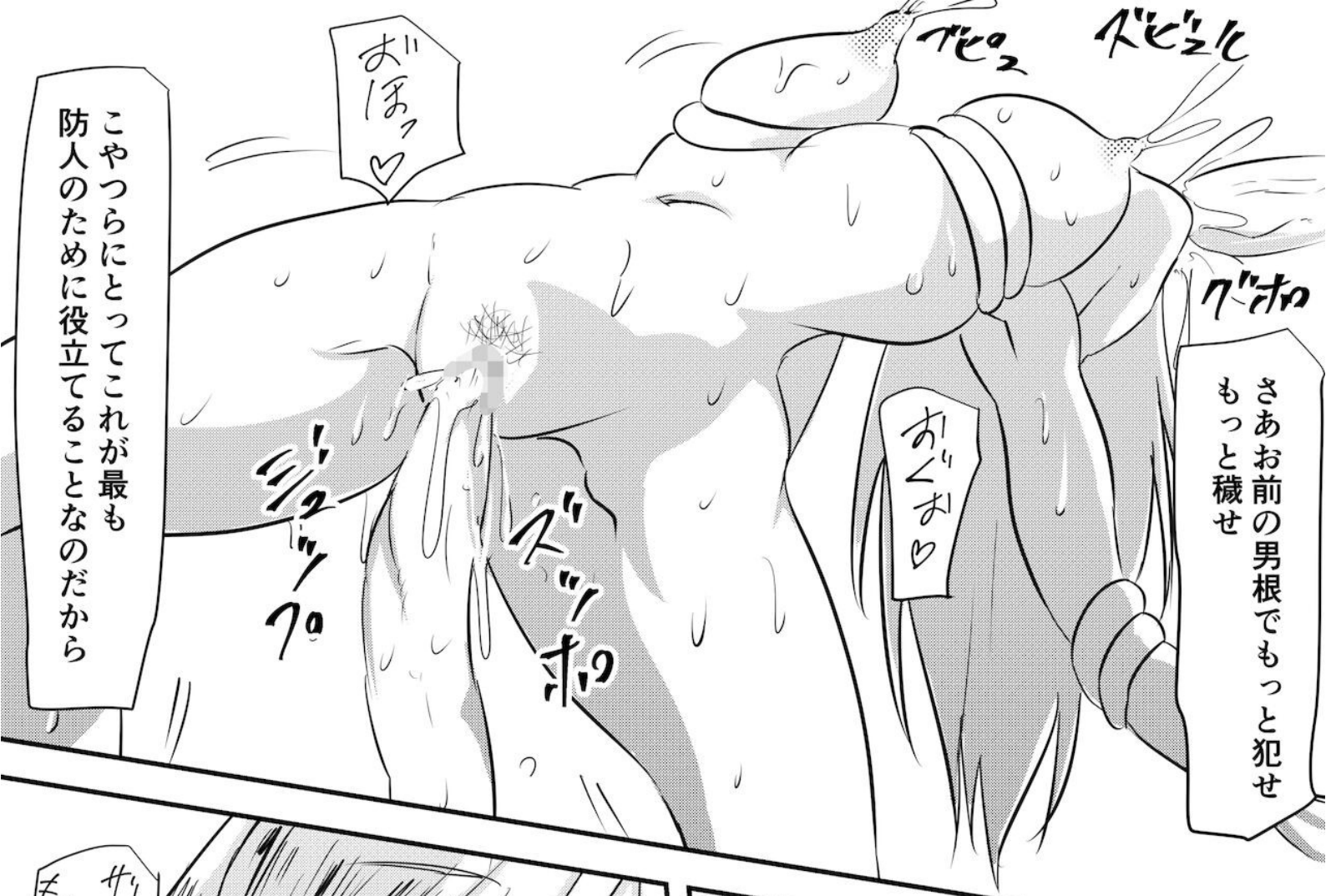
おっ♡

おっ♡

おっ♡

力が流れてくるのを
感じるだろう

お前があんな女を犯し
染め上げているのだ



おほっ♡

アビッ

アビッ

アビッ

さあお前の男根でもっと犯せ
もっと穢せ

おろおろ♡

グッ

グッ

こやつらにとってこれが最も
防人のために役立てることなのだから



真の強者は常に一人

サキシバいひいひいのお♡
もったくヤハのまほし♡

一人の最強の戦士が
いれば他の防人など
所詮は有象無象



女がいくら鍛えたところで
男には及ばぬ

ふっ♡

んん♡

アビッ

アビッ

ならせいぜい
強者の養分と
なるべきであろう

アビッ

グッ



お前
は
一
体
何
者
な
ん
だ
…
!

は
ち
ん
♡

く
く
く
ま
だ
わ
か
ら
ぬ
か
優
斗

お
い
よ
♡

あ
い
♡

ア
ホ

ふ
い
き
ゃ
う
♡



ア
ニ
ホ
し
や
ま
い
♡

あ
い
♡

お
ま
え
二
ハ
ハ
い
よ
い
♡
♡

な
ま
ま
さ
か
!

千年前、オレは死ぬ直前に一つの術を発動させた
その術は転生魂の術
肉体は滅びようとも魂に己の意識と記憶の
術式を残すという禁忌の術よ

アハハ

そうだ僕は……

力

ありありあり♡

レ
レ
レ
レ
レ

そのための力を！



僕は優斗だよ……
父上……

僕とアギトは完全に融和し
今や神に近い存在となった

なんと強大な妖力！
並みの防人が千人集まろうと
到底敵わない！

ウウウ

神人防人の
誕生だ！

これで我ら防人の
勝利は確実じゃ！

オオオオ





さあ開戦の狼煙を
上げるぞ

夷狄狩りの開始だ！

応っ！





あゝゝゝ
あゝゝゝ

あゝゝゝ

は、放せ！

くっ...！
や、やめろお！

あゝゝゝ
あゝゝゝ

あゝゝゝ

あゝゝゝ
あゝゝゝ

くくく
お前の乳房から妖力を吸い取ってやる
快楽に悶えるがいい！



触手から出る特殊な液体は
肉体の快楽神経を刺激し

妖力を母乳に変え
吸いだしていくのだ

おおっ♡
ふっふふふ♡



ひびき♡
グッ





さあ快楽を貪りながら
我が糧となれ

おろろろ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

おろろろ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

なぜだアギト...

なぜこんなことを...

3 力月後





まだだ、
まだ妖力が足りん

お前もオレのために
尽くせるのだから
嬉しいだろう？

ほぉ♡

かつての恋人である
このオレのためになぁ！

いりいり
おぉ♡

おっおっ♡



え……

そんな弱いお前が

お前は昔から弱かった
だから強いオレに惹かれ恋をした

や、かめっ♡
おっ、おっ♡♡

オレにすぐる子犬のようで
哀れで哀れで仕方なかった



半年後...

アイ

アギトお...♡
もっとおちんぽお...
おちんぽ頂戴い...♡

アイ

ははっ
すっかり雌らしく
なったではないか

ぐく

おあっ♡

ぐく

それでいい
お前ら雌は強き雄の
ためだけにあるのだ

あっ♡

触手ちゃん
キアッ♡♡

ぐわ

ぐわ

ムニ

ぐわ

ぐわ

おあっ♡

ぐわ

ア
ぐわ

あっ♡

お前はこれからも大事に
飼ってやるとも
お気に入りのおペットとしてな